

開場前から東京美術倶楽部に詰めかけたお客さま



都会の木々が紅葉最盛期を迎えた十一月二十日(金)～二十二日(日)の三日間、美術の殿堂、新橋の東京美術倶楽部で全国刀剣商業協同組合主催の第二十八回「大刀剣市」を開催しました。

今回は昨年より約三週間遅い開催となりましたが、ご来場者数は初日九百七十名、二日目九百六十五名、最終日九百九十二名と、ほぼ昨年同様の水準を記録しました。

カタログは前回は上回る部数を制作しましたが、おかげさまで完売になりました。

初日はたまたま同会場のイベントと重なってしまい、ご来場の方々にご不便をおかけしてしまいました。

受付は例年と同じく四階エレベーターホールに設置し、同フロア会場には二十九店舗が、三階会場に四十三店舗が色とりどりにブースを構え、お客さまをお迎えしました。



受付は大わらわ

わが全国刀剣商業協同組合の最大のイベントである恒例の大刀剣市は、六月中ごろに実行委員会を立ち上げ、カタログ制作のための商品集荷・撮影・編集などの作業を各委員が分担し、並行して会場設計や広報などさまざまな準備を重ね、出店条件でもある事前説明会(十月二十三日)を経て開催に至りました。

事前に、公益財団法人日本美術刀剣保存協会発行の『刀剣美術』や、産経新聞、フジサンケイビジネスアイ、読売新聞、日刊スポーツ、報知新聞その他のメディアに広告を発信するとともに、産経新聞の読者十名様への大刀剣市カタログ付入場券プレゼントを企画したところ三百四十五名の応募があり、読売新聞においては二十四名様のプレゼントに対して二百八十二名(女性六十九名)からの応募がありました。このような大きな反響からは、刀剣ブームの予兆を感じ取ることもできます。

北は北海道から南は熊本まで、それぞれの店舗ではお客さまとの和やかなやりとりが続く中、関心を集める展示やイベントも繰り広げられました。

三階重文室においてはNHK大河ドラマにちなんで「吉田松陰の時代の刀」と題し、江戸時代末期の名刀を展示して、ご来場者の注目を集めました。また四階の全日本刀匠会のブースでは、銘切り実演が行われ、個性あふれる現代刀匠の作品をアピールしていただきました。同じく四階では、恒例の「我が家のお宝鑑定会」が開催され、多くの方の依頼に心えて、鑑定員がその評価や見どころを丁寧に説明していました。

なお、三階に特設した組合コーナーでは「一般社団法人日本甲冑武具研究保存会」「学研」「目の眼」の協賛があり、カレンダーや書籍などが販売され、イベントに花を添えていました。

ほとんどの出店者の出席の下で事前説明会を実現したかいつ、初日の朝礼は十分程度で済み、事故や盗難などもなく終えることができました。

第一回目から毎回のご後援をいただいていた産経新聞社・フジサンケイビジネスアイ両社には感謝に堪えません。また、開催にご尽力いただいた各機関、関係者の皆さまには厚く御礼申し上げます。実行委員、出店者、その他関係者の皆さまのご苦労さまでした。

来年の大刀剣市は十一月十八日(金)～二十日(日)の三日間を予定しています。出店者はじめ組合員の皆さまには、今まで以上に良い大刀剣市となるよう、ご努力をよろしくお願い致します。ご意見やご希望がありましたら、全国刀剣商業協同組合事務局までお寄せください。(大刀剣市)実行委員長・清水儀孝)

# 第28回「大刀剣市」開催さる

## 72店舗が出店、連日賑わう



2016.1.15 No.27

発行人 深海 信彦  
発行所 全国刀剣商業協同組合 編集委員会  
〒169-0072 東京都新宿区大久保2-18-10  
新宿スカイプラザ1302  
TEL:03(3205)0601 FAX:03(3205)0089  
http://www.zentosho.com/

第27号編集担当 赤荻 稔 飯田 慶雄  
伊波 賢一 大西 芳生 大平 将広 川島 貴敏  
木村 隆志 嶋田 伸夫 清水 儀孝 生野 正  
新堀 賀将 瀬下 明 瀬下 昌彦 土子 民夫  
網取 謙一 土肥 富康 服部 暁治 深海 信彦  
松本 義行 冥賀 吉也 持田 具宏



初日の朝礼に参集した出店者

あふれる現代刀匠の作品をアピールしていただきました。同じく四階では、恒例の「我が家のお宝鑑定会」が開催され、多くの方の依頼に心えて、鑑定員がその評価や見どころを丁寧に説明していました。

なお、三階に特設した組合コーナーでは「一般社団法人日本甲冑武具研究保存会」「学研」「目の眼」の協賛があり、カレンダーや書籍などが販売され、イベントに花を添えていました。

刀剣・書画・骨董

## 和敬堂

土肥豊久・土肥富康

〒940-0088 新潟県長岡市柏町1-2-16  
TEL 0258-33-8510  
FAX 0258-33-8511

http://wakeidou.com/

美術刀剣・刀装小道具商

## やしま

齋藤雅稔・隆久・隆洋

刀装小道具通信販売目録「やしま」  
年間10回位発行予定  
購読料10回 2,000円 (郵便切手可)

〒202-0022 西東京市柳沢6-8-10  
TEL 042-463-5310  
FAX 042-463-7955

金工・刀身彫刻・修理・諸工作一式

## 柳匠堂

### 柳村宗寿

岡山市北区平和町二一八  
TEL 〇八六二二二二二二二二二二二二九  
工房 岡山市北区磨屋町七二二  
TEL 〇八六二二二二二二二二二二二二二二九  
FAX 〇八六二二二二二二二二二二二二二二九

刀剣古美術

## 三峯美術店

### 町田久雄

埼玉県秩父市野坂町一六六二  
西武秩父駅連絡通路町久ビル内  
TEL 〇四九四二二二二二二二二二二二二二二二二  
FAX 〇四九四二二二二二二二二二二二二二二二二

美術刀剣、小道具、武具類の  
売買、加工及び御相談承ります

## 大阪刀剣会

### 吉井唯夫

大阪市中央区日本橋二一七  
TEL 〇六一六六三二二二二二二二二二二二二二二二二  
FAX 〇六一六六四四一五四六四



カタログも好評で完売した。受付にて

# 「大刀剣市」の歴史を刻むカタログとその制作プロセス

平成二十七年度の「大刀剣市」カタログは四千二百部印刷された。大刀剣市の最終日二十二日の午前中に売り切れたと事務局より聞き、予想をはるかに上回る入場者にうれしさを感じた。

ところで、当組合で制作したカタログの歴史は古く、大刀剣市の前身である「全刀商オークション」昭和六十三年や「刀剣フェスティバル'89」平成元年に始まり、現在まで続けられている。

今やカタログは単なる売品目録ではなく、大刀剣市の顔であり、全刀商の歴史を物語る代表的な出版物の一部となっている。全世界の愛刀家が、大刀剣市の開催とともに待ち焦がれる存在にまで成長したと言っても過言ではない。

それには、制作に当たって毎年改良を積み重ね、進化させてきた関係者の努力があることを忘れてはいけないだろう。

- ①掲載品は保存以上の鑑定書が付いていることを条件とした。これは、掲載品の中になった一点でも疑わしいものがあれば、カタログ全体の信用問題に発展し、ひいては全刀商自体にも大きな影響を及ぼしかねないからだ。
- ②英訳版の作成とホームページでの公開。ここ数年、米国・欧州各国はもとより、世界中からお客さまがお見えになる。その方たちの声に応じて英訳版を作成し、非常に喜ばれている。これには語学に堪能な松本理事にご尽力いただいている。
- ③巻末に前年の大刀剣市の模様を数ページ、写真で紹介している。これは後々、大刀剣市の歴史の語り部となるであろう。
- ④掲載品は刀剣のみでなく、刀装

具類・甲冑類など、保存から重要美術品まで幅広く受け付ける。掲載品には店舗のブースナンバーを付け、来場者が探しやすいようにした。

⑥出店者名簿の中にホームページや携帯電話番号も加え、問い合わせに便利にした。

等々、さまざまな工夫を取り入れられている。引き続きより良いカタログを目指しているので、出店者ももちろん、一般の方々もご助言をぜひ組合事務局までお寄せください。

ところで、どのようなプロセスで大刀剣市のカタログが制作されているか、あまり語られたことがない。そこで今回は振り返り、ご紹介させていただきます。

まず編集委員は、深海理事長より委嘱状を受け、活動を始める。掲載品の集荷が最初の仕事である。七月十七日組合交換会会場、同二十四日名刀会会場、八月一日

銀座刀剣倶楽部会場で行われた。清水専務理事・嶋田理事を主軸に、生野理事、大平将広・服部一隆・眞賀亮典の各氏が奮闘した。

集荷は最も神経を使う仕事である。掲載品は各店舗の目玉商品であり、扱いは丁寧かつ慎重に行わなければならない。

刀剣の場合、登録証・鑑定書のコピー、撮影箇所・返却日などを確認し、必要事項はすべて台帳に記入し、さらに荷札に書き込んで仕分けする。その際、刀身の保存状態も見極めるが、ヒケ一本たりとも見落とすことは許されない。

拵・刀装具とも同様である。持参されたものを単に受け取るだけでなく、大切にお預かりして、おのの撮影場所に届ける重要な仕事だ。

さらに、それぞれの撮影現場で立ち会わなければならない。なぜなら、カメラマンは商品の取り扱いができず、加えて撮影箇所などの判断もできないからだ。鐔の裏や目貫の上下・左右を間違えたら大問題である。立会人は商品の管理と撮影の指示を的確に行わなくてはならない。また、商品の特徴もよく把握しておく必要がある。

後述する校正の際に重要なものだ。撮影は刀装具類が七月二十一日・二十七日、八月三日の計三回、甲冑類は八月四日に各二名ずつが立ち会って行った。清水専務理事・嶋田理事のほか、持田・生野・松本各理事と大平氏が担当された。

撮影作業がすべて終了すると、いよいよ編集に取りかかる。第一回の会議は八月十一日、組合事務所にて行われた。これには委員のほか、同美印刷から二名が加わった。

最初に、表紙を何にするか協議した。すべての出品の中から候補を何点か絞って全員で検討し、出品者にも確認して、今回は甲冑に決定した。

その後、掲載順の割り振りとなる。毎年、店舗を三つのブロックに分け、公平に順番を付けるよう心がけている。店舗によって掲載が一〜五ページと異なるため、それぞれがなるべく見やすくなるよう、見開き起こししたり、一ページ同士を組み合わせたりと配慮する。この作業は、ベテランの持田理事がリーダーシップを取り、的確に進めていく。

次に商品解説や出店者名簿は、申込用紙を照合しながら進める。そのほか、案内状やチケットの原稿作成も同時に行われた。

第二回は九月四日、同美印刷の会議室で行われた。カタログの初校である。メンバーそれぞれが一通り目を通した後、図版ページと商品解説ページに担当を割り当て、元原との読み合わせを行う。

この作業には、ベテラン勢が力を発揮する。甲冑類は綱取理事、刀剣類は服部常務理事に持田理事、刀装具類は何と言っても齋藤隆久さんだ。誰も気がつかないような微妙な箇所は、服部常務理事・嶋田理事が本当によく見つけてくれる。そんな初校は意外に時間を要し、六時間にも及ぶ。頭がフラフラになるほど、神経を使う。

第三回編集会議は九月十一日、第四回は同二十四日、同美印刷で行われた。再校では、初校で修正した箇所の確認、そして再度の校正・読み合わせだが、またまた訂正すべき箇所が見つかる。多くの目で、あれだけ慎重に校正したというのに……。

近年では若手の台頭が著しく、服部君・大平君の活躍もうれしい。生野・松本両理事も板に付いてきた。編集委員は無給の勤務奉仕であるが、刀剣や刀装具そのもの以外にも写真撮影や図録制作のノウハウなど、勉強になることが山ほどある。委員になって手伝いたいという方は大歓迎である。

今回の編集委員は左記の通り。大平将広・齋藤隆久・嶋田伸夫・清水儀孝・生野正・土子民夫・綱取譲一・服部暁治・服部一隆・松本義行・眞賀吉也・眞賀亮典・持田具宏 (眞賀吉也)



歴年の大刀剣市カタログは組合の歴史をも物語っている

古銭・切手・刀剣 売買 評価 鑑定  
**株城南堂古美術店**  
 代表  
**田中 勝憲**  
 〒153-10051  
 東京都目黒区上目黒四-3-1-10  
 TEL 03-3771-0176  
 03-3771-0177  
 03-3771-0178  
 FAX 03-3771-0177



すっかりおなじみとなった「我が家のお宝鑑定会」



## 「わが家のお宝鑑定会」を 担当して

「大刀剣市」恒例のイベントである「わが家のお宝鑑定会」は、今年も会期中三日間にわたり行われました。

大林幹夫氏、中村榮次氏と私赤荻が担当し、事務局のサポートを受けて運営しました。

鑑定に関しては深海理事長以下、理事全員が交代で担当するという役割分担で行いました。このシステムが定着したので、私たちが担当者も今年はすべてに落ち着いて対応できたと思っています。

今回のお宝鑑定で感じたのは、受付件数が少なかったことです。データをみると、一昨年一五五件、昨年九九件に対して、今年は七二件でした。

参加者に対して「お宝鑑定を何で知りましたか？」との問いには、昨年同様新聞がトップで、次が刀剣店の紹介、次いで知人の紹介とインターネットが同数でした。ちなみに、毎回来る方と前回も来た方が計三十四人いました。今回は幸いにも「ひやかし」的

な人は見かけませんでした。外国人が何組か訪れ、主に刀装具類について熱心に説明を聞いている光景が目につきました。

売却したいと登録証のみを持参された方や、所蔵品の写真だけを持ってこられた方もいました。確かにご婦人や老齢の方にとって、何本もの刀剣を持参するのは大変なことだと思います。

ほかにも、「主人が亡くなられ、処分したいがどうしたらいいか」とか、またそれに類する相談が数件ありました。刀剣類の取り扱いや処分は、想像以上に大変なこともかもしれません。

全国刀剣商業協同組合としてもその種の要望に応えるべく、もう少し前向きに手を差し伸べ、お手伝いをさせていただくという意思表示をしてもいいのではないかと思います。

いずれにしても、今年も無事に終わり、ホッとしています。ご協力ありがとうございました。  
(赤荻 稔)

## 「大刀剣市」会場の設計と設営について

回を重ね「大刀剣市」もこの度二十八回となり、多くの愛刀家や刀剣業界すべてに定着した当組合の一大事業となってきました。

会場は東京美術倶楽部の三階と四階を借り受け、当組合が委託しております東京貸物社にガラスケースやパーテーションなどを準備してもらい、設営します。これには二日間を要します。翌日、出店する組合員がおのの商品の搬入と飾り付けを行い、その次の日から三日間が大刀剣市です。

通常は大刀剣市終了の翌日、再び東京貸物社が後片付けを行いますので、会場は合計七日間使用することになります。

しかし今回は、大刀剣市の翌日から同会場にて別の催事が行われたため、東京貸物社には撤収と次の催しの設営を徹夜でお願いすることになってしまいました。また、三階の出店者の方々には二時間での後片付けをお願いしました。ご協力ありがとうございました。美術倶楽部は年間を通していろ

## 「大刀剣市」は勝負の世界

本年も全日本刀匠会関東地方支部として「大刀剣市」に参加させていただき、ありがとうございました。

銘切り実演を介してたくさんの方といろいろなお話をさせていただき、良かったです。

良い仕事をしていれば新作刀が次々と売れるという時期があったのですが、今は自らアピールすることも鍛冶屋の大事な仕事の一つだと実感しました。

そのためには、コンクールに出品して入賞することのほかに、さまざまな機会にアピールする場を設け、実際に手にして新作刀の良いところをしっかりと感

じてもらわなくてはなりません。古刀と新作刀が同時に値札を付けて並べられ、全国から刀好きの目利きが集まり「審査員」となる大刀剣市は、われわれ現代刀匠と舌の鍛冶屋との勝負の場



銘切りを披露する石井成道刀匠

所です。

日ごろ、古刀と新作刀を並べて比べられる機会は少ないので、率直な意見を聞ける貴重な場となります。気さくに話しかけていただけると、鍛冶屋のヤル気もグングン上がります。

今後たくさんのご意見をお聞かせください。  
(全日本刀匠会関東地方支部・石田國壽)

会場が分かれずに二フロアで、希望する広さの販売スペースを確保するには、現在の会場ではかなり難しい。今後、若い世代の愛刀家をいかに育成していくかという課題と併せ、検討していくべきテーマです。

ここ数年、出店数の増減があまりなかったため、会場の店舗スペースを新たに設計・変更する必要がありませんでした。これも出店数の変化と会場次第で、大きく変わる余地が出てきそうです。

以前はブース移動を希望する要望が少なくなく、実行委員会として、できる限りの調整をさせてい

刀剣・小道具・甲冑武具  
目白 **飯田高遠堂**  
代表取締役 飯田慶久  
〒161-0033  
東京都新宿区下落合3-17-33  
TEL 03-3951-3312  
FAX 03-3951-3615  
<http://www.iidakoendo.com>

(株)美術刀剣松本  
**松本 富夫 義行**  
〒278-0043 千葉県野田市清水199-1  
TEL 04-7122-1122  
FAX 04-7122-1950  
[www.touken-matsumoto.jp](http://www.touken-matsumoto.jp)

美術日本刀・鐔・小道具・甲冑  
日本の伝統文化を彩る  
JAPAN SWORD CO., LTD.  
(株)日本刀剣  
伊波賢一 Ken-ichi Inami  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-8-1  
TEL 03-3434-4321  
FAX 03-3434-4324

銀座 **泰文堂**  
〒104-0061 東京都中央区銀座4-3-11  
松崎煎餅ビル4階  
(株)銀座泰文堂 代表 川島貴敏  
TEL 03-3563-2551  
FAX 03-3563-2553  
フリーダイヤル 0120-402037  
<http://www.taibundo.com>

**刀剣 高吉**  
古名刀から現代刀、御刀のことならお任せください!  
連絡先 090-8845-2222  
代表者 高島吉童  
東京都北区滝野川7-16-6  
TEL 03-5394-1118  
FAX 03-5394-1116  
[www.premi.co.jp](http://www.premi.co.jp)



名刀が堪能できた「吉田松陰の時代の刀」展

「大刀剣市」には毎年参加させていたおかげです。開催は例年十月中旬から下旬となっておりますが、今回の第二十八回大刀剣市は十一月二十日〜二十二日と、やや遅い開催となりました。当初、十一月下旬という日程に不安を感じておりましたが、開催初日に杞憂となりました。外国のお客さまは十月中旬の開催を希望される方が多く、十一月では来場が難しいという予想もありましたが、そのようなこともなく、外国のお客さまも多数ご来場いただきました。



大刀剣市ブースの高島さん

次ページに続く

ただいおりでしたが、希望する場所に相手出店者がいるために、要望に添えられないこともあります。数年前からは、毎年同じブースを使用している方に優先権があるよう、実行委員会で規約に追加させていただきました。また、照明についても、熱を持たないLEDの導入を検討してきました。機材などのレンタル料金が安くないので、従来通り据え置いてきましたが、来年からは導入を考えています。

なお、ご承知のように人件費や資材費などが値上がりしており、大刀剣市の収支も厳しくなっています。今年の出店料は据え置きとさせていただきます。

それを可能としたのは、深海理事長・冥賀副理事長・清水専務理事らが各業者と誠意交渉された結果です。開催に協力していただいた業者の中には、大刀剣市や当組合との長い関わりを重視して、ほとんど利益を見ないところも現実にあります。

しかし、これ以上の経費削減は難しく、諸条件の変化は判断を許さないと断ります。次回開催の折は、やむなく出店料金の見直しを必要とするかもしれません。

大刀剣市はクオリティの高い、世界最高峰の刀剣即売会です。このようなノウハウと信用を積み重ね、育んでこられた先輩方に感謝いたします。(嶋田伸夫)

### 出店者から 高島吉童(刀剣高吉) テーマを設け、お客さまに喜んでいただける品揃えで臨む

「大刀剣市」には毎年参加させていたおかげです。開催は例年十月中旬から下旬となっておりますが、今回の第二十八回大刀剣市は十一月二十日〜二十二日と、やや遅い開催となりました。当初、十一月下旬という日程に不安を感じておりましたが、開催初日に杞憂となりました。外国のお客さまは十月中旬の開催を希望される方が多く、十一月では来場が難しいという予想もありましたが、そのようなこともなく、外国のお客さまも多数ご来場いただきました。

刀	銘	羽州米澤住加藤長運斎綱俊 天保七年申年二月日 應需遠山膳大夫景時氏 以真十六枚甲伏造
大小	銘	肥後國同田貫宗廣 天保十年九月日
薙刀	銘	於長門國正行製 天保十四年二月日
短刀	銘	恭呈西涯磯先生 於長門國正行製 附拵
刀	銘	横山加賀介藤原朝臣祐永造之 弘化三年二月日 (菊紋) 一應張至治需 備陽長船士
刀	銘	於江府古河臣泰龍齋宗寛 嘉永三年十月日
刀	銘	筑後國久留米住青木源清恒 嘉永五年八月日
刀	銘	総州佐倉臣細川忠義造 嘉永七年三月日大田垣日下部高久所持
大小	銘	作陽幕下士細川正義造〔刻印〕 安政二乙卯年八月日
脇指	銘	藤原正行造 (清人同人) 安政三年二月日 (附小さ刀拵)
刀	銘	水心子正次 (花押) 安政四丁巳年二月吉日
刀	銘	莊司次郎太郎直勝 安政五年二月日
刀	銘	於東武金杉營中元興作之 安政六年二月日 同六月十一日於傳馬町太々土壇拂 山田吉豊試之
脇指	銘	左行秀 安政六年八月吉日 (附古鞘)
刀	銘	石堂藤原一精鍛 文久三年八月日
刀	銘	平信秀 元治元年三月日
刀	銘	筑前守信秀 慶應元年八月日

## 報告 「吉田松陰の時代の刀」展

二〇一五年の「大刀剣市」の特別展示は「吉田松陰の時代の刀」展と題し、大小刀二振、刀十一振、脇指二振、短刀一振、薙刀一振の計十七振が展示されました。吉田松陰は激しい生涯を送った長州藩士で、幕末維新の志士たちに多大な影響を与えた思想家であり、また教育者でもあったことはよく知られています。

松陰が生まれ育った天保年間には異国船が近海に現れ、薪水給与を求め、時には通商をも要求する時代でした。鎖国政策を堅持しつつ、異国に対してどう対応するか、国防はどうあるべきか、問われている時代でした。六歳で山鹿流兵学師範役の吉田家を継ぎ、厳しい勉学と教練に明け暮れることとなった松陰も否応なく、国防・軍事・兵学について思索を深めていったようです。九州や江戸に遊学して佐久間象山らの教えを受け、他藩士と交流し、愛国心に燃える青年吉田松陰が現れたのでした。

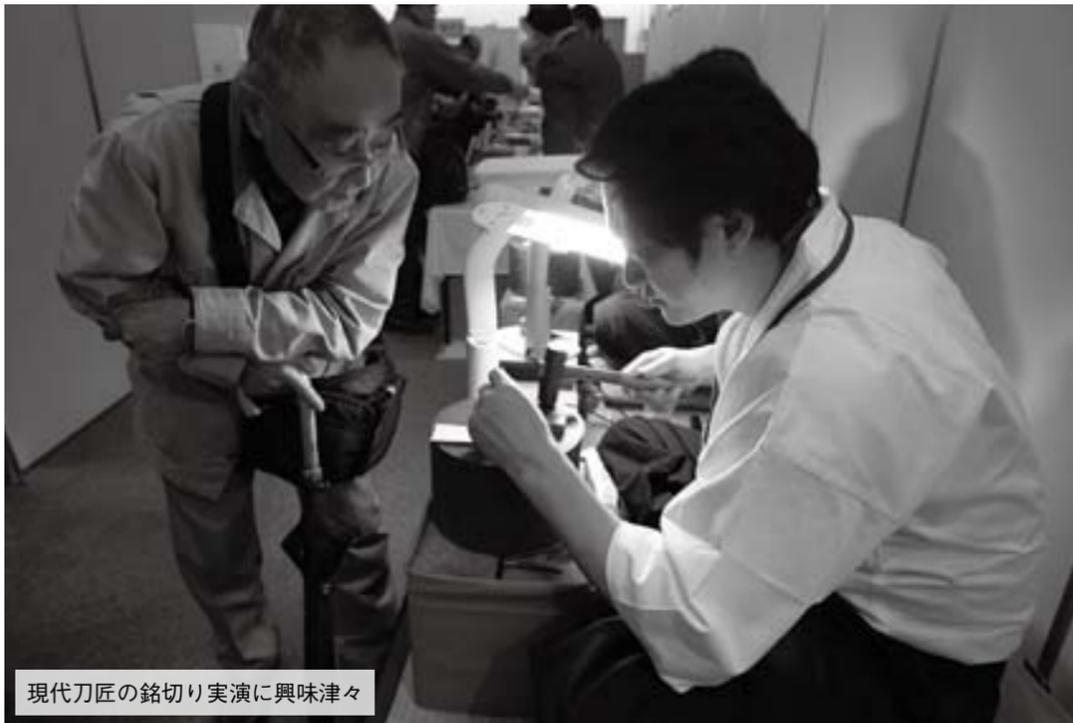
今回の展示は天保・弘化・嘉永・安政のそれぞれの年に、松陰がどんな境遇で、どこで何をしていたのかを知るとともに、江戸後期から幕末の時代の風を少しでも感じ取っていただけるように、おのの刀工の作品を年次順に展示しました。

武士たちはさまざまな思いを胸に刀鍛冶に作刀を依頼し、刀鍛冶も真摯な気持ちでこれに心懸けていた作品は勇士の忘れ形見ともいえるべき貴重な、そして出来の優れた作品揃いでした。

天候に恵まれたこともあり、たくさんのお客さまのご来場を賜りました。「これは同田貫だよ、同田貫」「正行って、ああ、清磨の前銘か」「互の目と丁子と、こうして複雑に変化しててね……」などとお声で話しながら見ている方もあれば、「茎の形はこの本のこういう例に一致するものですね」とテキストを広げて見ている方もありました。また昨今の「御刀女子ブーム」もあり、女性の姿も少なからず見受けられました。

なお、今回はスマートフォンなど<http://syiel.com>にアクセスすることで、展示された刀の見どころ、刀工の来歴などが文字と音声でお楽しみいただけるサービスも試行されました。題して「刀の事を知った気になろう」。これも斬新で面白い企画でした。今後の展開が楽しみです。(小島つとむ)

撮影/トム岸田・冥賀明子



現代刀匠の銘切り実演に興味津々



お客さまで賑わう休憩所とお弁当コーナー



「店舗ごとの個性が失われつつある」といふことでしょうか。

地方のお店はそれなりに、そのお国の特徴ある作品を並べ、しかも安く提供していました。今は中央に合わせて、品揃えも値段も平均化している

「大刀剣市」にお越しいただき、ありがとうございます。この催しにはいつごろからおいでいただいていますか。

産経会館で開催していた当時から、ほとんど毎回参加しています。東京美術倶楽部に移ってから、いろいろな面で良くなっていますね。アクセスも多少不便になりましたが……。

「大刀剣市」には書けません。企業秘密で詳しくは書けません。ご来場のお客さまに喜んで気をつけていた商品を生懸命探し、日本国中を探し回っており、なかなか出会えないですが、縁物とはよく言ったもので、毎年何とか揃えることができ

「大刀剣市」には書けません。企業秘密で詳しくは書けません。ご来場のお客さまに喜んで気をつけていた商品を生懸命探し、日本国中を探し回っており、なかなか出会えないですが、縁物とはよく言ったもので、毎年何とか揃えることができ

「大刀剣市」には書けません。企業秘密で詳しくは書けません。ご来場のお客さまに喜んで気をつけていた商品を生懸命探し、日本国中を探し回っており、なかなか出会えないですが、縁物とはよく言ったもので、毎年何とか揃えることができ

「大刀剣市」には書けません。企業秘密で詳しくは書けません。ご来場のお客さまに喜んで気をつけていた商品を生懸命探し、日本国中を探し回っており、なかなか出会えないですが、縁物とはよく言ったもので、毎年何とか揃えることができ

「大刀剣市」には書けません。企業秘密で詳しくは書けません。ご来場のお客さまに喜んで気をつけていた商品を生懸命探し、日本国中を探し回っており、なかなか出会えないですが、縁物とはよく言ったもので、毎年何とか揃えることができ

「大刀剣市」には書けません。企業秘密で詳しくは書けません。ご来場のお客さまに喜んで気をつけていた商品を生懸命探し、日本国中を探し回っており、なかなか出会えないですが、縁物とはよく言ったもので、毎年何とか揃えることができ



抽選に当選した神田さん

「大刀剣市」には書けません。企業秘密で詳しくは書けません。ご来場のお客さまに喜んで気をつけていた商品を生懸命探し、日本国中を探し回っており、なかなか出会えないですが、縁物とはよく言ったもので、毎年何とか揃えることができ

「大刀剣市」には書けません。企業秘密で詳しくは書けません。ご来場のお客さまに喜んで気をつけていた商品を生懸命探し、日本国中を探し回っており、なかなか出会えないですが、縁物とはよく言ったもので、毎年何とか揃えることができ

「大刀剣市」には書けません。企業秘密で詳しくは書けません。ご来場のお客さまに喜んで気をつけていた商品を生懸命探し、日本国中を探し回っており、なかなか出会えないですが、縁物とはよく言ったもので、毎年何とか揃えることができ

「大刀剣市」には書けません。企業秘密で詳しくは書けません。ご来場のお客さまに喜んで気をつけていた商品を生懸命探し、日本国中を探し回っており、なかなか出会えないですが、縁物とはよく言ったもので、毎年何とか揃えることができ

「大刀剣市」には書けません。企業秘密で詳しくは書けません。ご来場のお客さまに喜んで気をつけていた商品を生懸命探し、日本国中を探し回っており、なかなか出会えないですが、縁物とはよく言ったもので、毎年何とか揃えることができ

「大刀剣市」には書けません。企業秘密で詳しくは書けません。ご来場のお客さまに喜んで気をつけていた商品を生懸命探し、日本国中を探し回っており、なかなか出会えないですが、縁物とはよく言ったもので、毎年何とか揃えることができ

「大刀剣市」には書けません。企業秘密で詳しくは書けません。ご来場のお客さまに喜んで気をつけていた商品を生懸命探し、日本国中を探し回っており、なかなか出会えないですが、縁物とはよく言ったもので、毎年何とか揃えることができ

### 組合こよみ (平成27年11~12月)

- 11月1日 銀座刀剣倶楽部会場で『刀剣界』第26号編集委員会を開催(校正)。出席者、深海理事長・清水専務理事・赤荻理事・嶋田理事・生野理事・瀬下理事・綱取理事・松本理事・持田理事・大西芳生氏・大平将広氏・木村隆志氏・土子民夫氏
- 7日 全連役員会にて伊波常務理事が出席
- 9日 銀座長州屋にて『刀剣界』第26号編集委員会を開催(校正)。出席者、深海理事長・服部常務理事・生野理事・土子氏
- 17日 東京美術倶楽部にて組合交換会を開催。参加41名、出来高5,334,000円
- 17日 東京美術倶楽部にて『刀剣界』第27号編集委員会を開催(企画)。出席者、深海理事長・冥賀副理事長・清水専務理事・伊波常務理事・服部常務理事・赤荻理事・生野理事・瀬下理事・綱取理事・木村氏・土子氏
- 20日~22日 東京美術倶楽部にて第28回「大刀剣市」を開催。来場者は20日970名、21日965名、22日912名、計2,847名
- 12月17日 東京美術倶楽部にて組合交換会を開催。参加56名、出来高13,404,500円
- 17日 東京美術倶楽部にて『刀剣界』第27号編集委員会を開催(校正)。出席者、深海理事長・冥賀副理事長・清水専務理事・服部常務理事・赤荻理事・生野理事・嶋田理事・瀬下理事・綱取理事・持田理事・大西氏・木村氏・土肥富康氏・土子氏
- 17日 清水専務理事・服部常務理事・生野理事が産経新聞社を訪問、「明美ちゃん基金」に募金30万円を寄託

## 天下三名槍「御手杵」復元

天下三名槍の一つとされ、太平洋戦争の空襲で失われた「御手杵」の復元。埼玉高島郡高島町の郷土史家高島敏夫さん(67)が復元し、ゆかりのある同市の新町高島神社に奉納した。御手杵の槍は、オンラインゲームでキャラクターにも擬人化された若い女性ファンが多い。東洋五月に一般公開される予定で「刀剣女子の聖地」と期待されている。

御手杵の槍は戦国武将の結城頼朝が一五七四年、多くの名刀を生んだ高島郡高島(現高島市)の四代・頼朝に作られたとされる。槍皮の拵(さや)の装束が、片手つきで槍の形をしていて、御手杵の槍と称された。

全長二・三メートルあって重く、実際の戦場には使えず、戦場で武將の存在を知らせるための槍の形として使用されたため「不戦のシンボル」の異名もある。

精進寺を引継いだ松平直基の子孫が代々大切に保管していたが、一九四五年五月の東京・山の空襲で、現在の新町区にあった松平邸が全焼。多くの文化財とともに槍も失われた。今、槍を復元した高島敏夫さんは、松平家の家臣の子孫、前橋藩主時代に現在の東松山市に置いた松山陣屋の遺品保存活動を行っている。

この槍は二〇〇二年に元高島市で郷土史研究家の塚本昭一さんがレプリカを作ったが、その後の調査で正確な寸法が判明したことから、高島さんは忠実に復元した。槍の拵は、高島さんが一三年前に制作した槍は、高島市の結城頼朝の遺品保存活動で今年五月、一緒に記念撮影できるように、二人以上の「刀剣女子」が詰めかけたという。高島さんは「日本の歴史や文化は、お金では買えない槍があることを知ってほしい」と期待している。

### 空襲で焼失「不戦のシンボル」

御手杵の槍は戦国武将の結城頼朝が一五七四年、多くの名刀を生んだ高島郡高島(現高島市)の四代・頼朝に作られたとされる。槍皮の拵(さや)の装束が、片手つきで槍の形をしていて、御手杵の槍と称された。

全長二・三メートルあって重く、実際の戦場には使えず、戦場で武將の存在を知らせるための槍の形として使用されたため「不戦のシンボル」の異名もある。

精進寺を引継いだ松平直基の子孫が代々大切に保管していたが、一九四五年五月の東京・山の空襲で、現在の新町区にあった松平邸が全焼。多くの文化財とともに槍も失われた。今、槍を復元した高島敏夫さんは、松平家の家臣の子孫、前橋藩主時代に現在の東松山市に置いた松山陣屋の遺品保存活動を行っている。

この槍は二〇〇二年に元高島市で郷土史研究家の塚本昭一さんがレプリカを作ったが、その後の調査で正確な寸法が判明したことから、高島さんは忠実に復元した。槍の拵は、高島さんが一三年前に制作した槍は、高島市の結城頼朝の遺品保存活動で今年五月、一緒に記念撮影できるように、二人以上の「刀剣女子」が詰めかけたという。高島さんは「日本の歴史や文化は、お金では買えない槍があることを知ってほしい」と期待している。

### 東松山の郷土史家ら「刀剣女子」魅了 来年5月公開へ

この槍は二〇〇二年に元高島市で郷土史研究家の塚本昭一さんがレプリカを作ったが、その後の調査で正確な寸法が判明したことから、高島さんは忠実に復元した。槍の拵は、高島さんが一三年前に制作した槍は、高島市の結城頼朝の遺品保存活動で今年五月、一緒に記念撮影できるように、二人以上の「刀剣女子」が詰めかけたという。高島さんは「日本の歴史や文化は、お金では買えない槍があることを知ってほしい」と期待している。

**盗難刀剣の照会**  
福岡県久留米警察署より盗難にかかる刀剣類6振について照会がありました。お心当たりの節は、下記まで連絡をお願いします。  
久留米警察署刑事課 担当/山田大輔  
〒830-0003 福岡県久留米市東櫛原町1002-2  
☎0942(38)0110 内線619

登録番号	種別	目釘穴	銘文
愛知県13086号	太刀	一	助宗作
東京都303529号	刀	1	粟田口近江守忠綱享保三年十月
山形県9990号	刀	2	無銘

登録番号	種別	目釘穴	銘文
徳島県28773号	脇指	1	無銘
東京都131527号	短刀	1	無銘
長野県88349号	薙刀	3	国林

『刀剣界』は隔月で発行しています。現在、キャンペーン中につき、ご希望の方に1年間無料でお送りしています。組合員・賛助会員以外の方で継続購読を希望される方は、お名前・送付先・電話・メールアドレス(あれば)を書面でお知らせください。また、お知り合いで刀剣に興味のある方がいましたら、教えてあげてください。(事務局)

YOMIURI ONLINE 平成27年12月11日より

## 日本刀が地域経済を回す? 「刀剣女子」増殖中

メディア局編集部 杉山 智代乃

今年初めから、女性たちが名刀を鑑賞するため全国各地の博物館や資料館、神社などに殺到しているのをご存じだろうか。日本刀といえば、従来は歴史ファンや中高年男性の独壇場であったが、現在は若い女性が名刀に「会い」に全国を駆け巡っている。名付けて「刀剣女子」。ゲームをきっかけに日本刀に興味を持ち始めた「刀剣女子」たちは、単に刀を鑑賞するだけにとどまらず、信じられない行動を取っている。今年の流行語大賞候補にもノミネートされた「刀剣女子」の行動と心理を探ってみよう。

### 漂う静かな熱気

今年5月、上野・東京国立博物館は大盛況の「鳥獣戯画展」と同様に、本館1階の日本刀の展示スペースが来場者の静かな興奮と熱気に満ちていた。展示室に押し寄せた女性たちの目的は、期間限定展示の国宝「三日月宗近」だ。平安時代に作られたとされる太刀で、刀の縁にいくつも浮かぶ三日月の模様や刀の反りが美しい。ガラスケース手前から行列ができていて、彼女たちの視線は数メートル先の日本刀に注がれていた。

フラッシュ禁止ではあったが写真撮影が許可されていたため、見学者はスマホやデジカメで刀の写真を撮ったあと、まるでイケメンを隅々まで「ガン見」するようにじっくりと鑑賞していた。その目は尋常ではない。

実際に三日月宗近を鑑賞した東京都の30歳代の女性看護師は、作品の圧倒的な美しさに見とれ、感動したと言う。「遠い昔に打たれた刀なのに、美しすぎる。切先の正面から見た時、あまりの鋭さと奇麗さに驚いた」と話す。

東京国立博物館だけがではない。全国各地の博物館や資料館など、名刀を展示している施設にはこのように女性たちが押し寄せている状況なのだ。



国宝「三日月宗近」を鑑賞する女子生徒たち(東京国立博物館で7月上旬)

### きっかけはゲーム

すべての始まりは、今年1月にリリースされたオンラインゲーム「刀剣乱舞-ONLINE-」だった。日本刀を擬人化したイケメンの「刀剣男士」を収集・育成し、合戦場の敵と戦っていくというもので、「刀剣乱舞」を略して「どうらぶ」の愛称でファンから呼ばれている。

美しいビジュアルと人気声優の起用などから、主に女性の間で爆発的な人気を博している。フィギュアやキーホルダーなどのグッズを販売すれば行列ができ、コンビニなどでのタイアップキャンペーンでは、早朝からクリアファイルなどの争奪戦が繰り広げられる。

このような現象が起こるほどゲームが好評なのは、「たくさんの刀剣男士との出会いを楽しめることを意識して作ったから」とゲームを運営しているDMMゲームズ担当者は語る。

### スピーディーなSNSでの情報拡散

だが、ゲームの人気は意外なところへ飛び火した。ユーザーの興味はゲームキャラクターだけでなく、日本刀本体へも向けられ始めたのだ。



国宝「三日月宗近」

東京国立博物館に展示されていた三日月宗近は、ゲーム内ではプレイヤーがなかなか手に入れにくい「刀剣男士」の代表格だ。それも相まって、実物の三日月宗近に対するゲームユーザーの熱も高まったのだろう。彼女たちは、博物館の年間スケジュールから三日月宗近や他の刀剣の展示情報を調べ上げ、その情報は瞬く間にツイッターなどのSNSで拡散されるようになった。

東京国立博物館の伊藤信二・広報室長は、「当館のウェブサイトやSNSへのアクセスが突然急増した理由がすぐにはわからなかった」と振り返る。博物館側から「積極的に展示予定を発信したわけではなかった」(伊藤室長)が、数か月先の展示情報の共有と拡散のスピードは速かった。

刀剣の鑑賞者は目に見えて増加し、それも女性の割合が多くなったと、伊藤室長は語る。

彼女たちの印象を、「事前に鑑賞のポイントなどを勉強してから博物館に来場しているのではないか。そのような『作品に向き合う姿勢』があるから、刀剣以外の絵画、仏像などの他分野にも興味をもってくれたように思える」と伊藤室長は分析する。

それを裏付けるように、河出書房新社(東京都渋谷区)が昨年8月に刊行した文庫本「日本刀 妖しい魅力にハマる本」は10万部を超える大ヒットに。「刀剣乱舞」が配信されて以降、売り上げが急増したそうだ。それ以外にも日本刀をテーマにした書籍が多数発行され、多くの書店には「日本刀コーナー」も作られた。



国宝「三日月宗近」を鑑賞する女性たち

### 全国の刀剣に「会いに行く」

当然のことながら、ゲームに登場する名刀の多くは全国各地に点在するため、刀剣女子は好きな刀に「会いに行く」という行動もいとわないようだ。

丸亀城域内にある丸亀市立資料館(香川県丸亀市)は、10月から11月末にかけて資料館始まって以来の記録的な入場者数を叩き出したという。来場者の目的は、脇差「ニッカリ青江」だ。

南北朝時代の作と伝えられるこの刀は、江戸時代の丸亀藩主・京極家の所伝などによると「にっかりと笑う女の幽霊を斬り捨てた」などの逸話から、「ニッカリ」と名付けられたという。開催されていた「京極家の家宝展」の展示室では、人だかりの向こうのケース内でその刀身が光っていた。

ゲームでは、長身で長髪、クールなルックスのキャラクターで、その「等身大」パネルが資料館のロビーに置かれ、女性が次から次へと記念撮影をしていた。

資料館の関野真樹館長は、「ゲームの影響でしょう。『ニッカリ青江はいつ見られるのか』という問い合わせが多かった」と話す。展示会の公開初日には1,889人が訪れたという。「20代から30代の女性が多かった。今まで資料館を訪れることがあまりなかった年代の人たちです」(関野館長)

長椅子が展示ケースの向かい側に備え付けられているため、座って長い間鑑賞している女性も見受けられた。「実際に見て、刀の美しさや凄みに魅せられているようです。これをきっかけに若い人たちが丸亀の歴史や文化に触れ、文化財を好きになってくれたらうれしい」と関野館長は話す。

豊国神社(京都市)は豊臣秀吉ゆかりの神社で、重要文化財の名刀「骨喰(ほねばみ)藤四郎」が所蔵されている。刀の写真を表紙に用いた朱印帳を6月に新たに制作し販売を開始したところ、すぐに在庫

がなくなったという。他の名刀を所蔵する神社や博物館も、刀の写真でポストカードやクリアファイルを制作し、刀剣女子からの評判も良いようだ。

今、彼女たちの中で最も話題なのは、今年15日から京都国立博物館で開催される特別陳列「刀剣を楽しむ」(～来年2月21日)という展示だ。「刀剣乱舞」とのコラボレーションで、ゲームに登場する名刀が展示され、その名刀がベースとなったキャラクターを演じている声優が音声ガイドで解説する。

### 「よみがえった」名刀

「刀剣乱舞」に登場する人気キャラクターに「燭台切(しょくだいぎり)光忠」がある。元は伊達政宗の所有だったといわれる刀は水戸徳川家に所蔵が移ったが、資料から関東大震災で被災し「焼失」したとされ、ファンには「現存しない」ものと思われていた。ところが徳川ミュージアム(水戸市)で「焼刀」の状態のまま保管されていることがわかり、ファンから多くの問い合わせがあったという。

同ミュージアムの佐宗沙織学芸員は、「それまでは、美術刀剣としての価値がなくなっていると考えていたので、特に展示はしていなかった」と話す。

ところが、5月に1日限定で展示した際には応募が殺到し、「刃文は見えないけれど、形は刀の原形を保っている」「黒く焼けているが、かっこいい」などの参加者のリポートがツイッターなどで拡散された。また後日、開催された企画展で展示された時には、実物の燭台切光忠を前に感極まって涙ぐむ女性もいた。何度も来館したり、土日などは、通常の10倍の来場者が燭台切光忠を見に訪れたという。

それに伴い、同ミュージアムへの寄付が急増した。「公益財団法人として寄付制度はもともとあったが、5月以降は『刀の保護に使ってください』とのコメントが添えられるものが見受けられるようになった」(佐宗学芸員)

この状況に「美術刀剣としては日の目を見る可能性が少なくなっていた刀に、多くの人々が注目してくれたおかげで『新しい文化財としての価値』を見いだされた。非常に感謝している」と佐宗さんは話す。

### 名刀の復元を2,600人が支援

刀剣女子たちの熱い想いが反映した最近の事例としては、「大太刀復元奉納プロジェクト」が最たるものだろう。「蚩丸」という戦後失われた名刀を復元し、阿蘇神社(熊本県阿蘇市)に奉納しようとするもので、その費用をクラウドファンディングで集めるという計画だ。目標額は550万円。それを一日も経たずにクリアした。

「非常に驚いている。現在、支援者の数が2,600人強だが、これほどの人たちに応援してもらえるとはいえなかった」

プロジェクトを立ち上げた岐阜県関市の刀鍛冶、福留裕晃(刀匠名房幸)さんはそう語る。

支援コースは5,000円から270万円まであるが、すでに5万円以上のコースは受け付けを終了している。12月11日現在、3,700万円を超え、来年1月29日の締め切りまでまだまだ支援は増えそうだ。

福留さんは、「刀の復元・制作・奉納にかかわることができてうれしい、というコメントが多く、ありがたいと思っている。今までこういった試みがなかったことが、これだけの支援者を集めることができた一因だ」と分析する。

「刀剣乱舞」の原作を担当したニトロプラスの担当者は、美術品としての刀剣だけでなく、その制作工程や関連地域にゲームユーザーが訪れることがうれしいと語る。

取っ掛かりはゲーム上の美麗なキャラクターに魅了されたからとはいえ、「刀剣女子」たちはなぜここまでリアルな日本刀に「入れ込む」のだろうか。

ゲームでの「推しキャラ」(お気に入りのキャラクター)をもっと知りたいと思ったので、そのベースとなった日本刀の来歴や持ち主の変遷、まつわるエピソードなどを調べたら、その内容がキャラのせりふに反映していることがわかった、と横浜市の30代女性会社員は話す。

「そう思ったらより一層実物の刀に会いたくなったり、保存や復元など何かできることがあれば応援したいと思っています」

好きになったらとことん追いかけるバイタリティーと、そこにお金を惜しみなく費やす。予想の「斜め上」をいく、「刀剣女子」のナゾの行動はまだまた続きそうだ。



# 風向計

其之十七

深海 信彦

経済の動きは十二月に終わって一月に始まるわけでもないのに、年が改まると決まってその年を占う経済予測がマスコミを賑わせる。本欄もそれに倣って新しい年の展望に触れようとはしているが、先のことを語るには流れとして昔日のことを引き合いに出さざるを得ない。しかし、平成も二十八年ともなると、業界のさまざまな出来事かなり昔のことであったような気がする人も少なくないはずである。

と云うのも、賛助会員八十名を除く組合員数百八十名のうち、六十歳代が五十八名で三三％、七十歳代が四十二名で二三％、これに八十歳代の二十名を加えると六十歳以上が百二十名で全体の六六％を占めている。これらの年齢層の人に過去の景気の流れを語るには、少なくとも昭和六十一、二年から平成三年にかけてのバブル期まで遡らなくてはならない。

この「バブル」の時代も、もはや今を去ること三十七、二十五年前の話で、現在六十歳代の人には当時三十歳代、五十歳代の人には二十歳代のこと、業界で最も実力を発揮し得る年代とは言えず、この所謂「バブル」の恩恵を受けた人がいたとすれば、当時は四十代・五十代以上で、現在の六十代・七十代以上の人たちであろう。景気の流れを読むためとはいえ、この時代のことを例に取っても、五十歳代三十四名、四十歳代十四名、三十歳代十一名の三四％の組合員には商売の参考になることは少ない。

そこで本欄では、話だけに聞く昔のことばかり置き、ここ十年の業界の足跡を辿り、それを踏まえて今年以降の行く末に思いを馳せてみよう。

バブル崩壊後の二十年間は「空白の時代」などと呼ばれ経済の低迷期が続いたと言われているが、それでもわれわれは休むことなく商売を続け、業界

全体はバブル崩壊後も一定の水準を保ち、この時期に参入した同業者も多い。近年わが業界に最も悪影響を与えたのはアメリカ発のサブプライムおよびリーマン・ショック不況であり、立ち直る間もない先の東日本大震災であった。そして、このような不況と軌を一にして業界内に倒産の連鎖が起こり、デフレ・ムードに拍車をかけるように刀剣相場も下落して業者自身のマインドも落ち込み、バブル崩壊どころではない危機感を肌で感じた人も少なくなかったはずである。

この業界内の事故処理の一段落したころに安倍政権が誕生し、「アベノミクス」を掲げて経済優先の政策を推進させたあたりから、遅ればせながら業界も活況を取り戻し、取引相場もやや持ち直して現在に及んでいるところである。さて、ここから先の景気の話になるのであるが、結論から言えば、今年以降しばらく取引相場は安定を保ち、商売環境には恵まれると言いたい。このように言うこと必ず反論が出るのが、交換会における取引相場が上昇しない限り本格的回復にはほど遠いという議論であろう。

しかし、本欄第十八号(平成二十六年三月発行)で唱えた通り、重要刀剣等の指定数の増加と取引価格との関係は、日本経済の需要と供給力の差のプラス・マイナスがデフレ・インフレの指標となる「需給ギャップ」という言葉で表されるのに対して、業界の取引相場には指定数と価格に「相対的ギャップ」というものが存在する。昭和五十年代まではプラスであり、六十年代から平成にかけてマイナスに転じたと推測し得るが、このギャップがマイナスとなると業界不況に陥るわけでないことは多くの実例と数字を示して既に述べた。従って株式価格とは異なり、刀剣等の取引価格が上昇しないから業界景気

は良くなるという懸念は不要である。この「相対的ギャップ」は、保存刀剣・特別保存刀剣にも同様に存在し、今後ますます鑑定書付きが増加して、鑑定書の発行数と取引価格のギャップはマイナスの度を深めると予測されるが、われわれ業界から見れば、鑑定書付きの刀剣が減るのではなく増えるのであるから、大いに歓迎されるべきことであろう。

以上述べたように、取引価格の上昇は望めないまでも業界景気は安定期にあると判断し得るが、近年の業界における最も大きな逆風は、①刀剣の登録証の所有者変更届に関する煩雑さである。この件についてはいづれ項を改めて検証する必要があるが、②インターネットによる刀剣の売買に関する助言指導、③刀剣を扱う刀剣商の資格認定の実施について早期に対策を立て、実行に移すべきであろう。

業界にはさまざまな分野で有能な人材が多く、有益な提言も多いが、個々の才能を発揮してもらうべく企画部門・実行部署がない故に、あらゆる問題が一向に好転せず、旧態を維持することとで精いっぱいというのが現状である。刀剣商は日々商売に励むのが当たり前、自らの時間を割いて無償で業界のこれらの部門で働くことはなかなかできないことではなく、また、やらせるべきではない。一番の方法は、業界が抱える前記①②③等に対して、それに詳しい組合員を座長とし、外部の有識者を交えて問題の解決を図ることであろう。このようなシンクタンク的な部門を立ち上げることによって、個人の力では到底解決し得ない諸問題にも解決の道筋をつけることが可能になってくる。

そのためには資金も当然必要になってくるが、どのような業界や団体においても、組織の防衛あるいは発展のためには幾ばくかの費用捻出は必要である。組合を中心としてこれに当たって、大方の支持を得て実行可能となれば刀剣界にも新たな展望が開け、今後も魅力のある業界に発展していく十分のポテンシャルを秘めていると言いたい。

## 私が出会った珍品・逸品

木村 隆志

### 笛巻塗鞘拵 銘 青生斎政辰(花押)

刻子・楊香・孟宗・董永・漢文帝ほか二十四孝図

最近、某コレクターが所持の拵を拝見する機会がありましたのでご紹介いたします。

この拵の一作金具は、元の時代中国の孝行者二十四人を取り上げた「二十四孝」を題材にしたもので、鐔・縁・鐙・鯉口・小柄・裏瓦・飾り金具に銘が入る入念作である。作者は、政辰。石黒派の祖初代政常に師事し、後に石黒の姓を許されている。

頭は四分一地に二匹の象を高彫とし牙は銀象嵌となり、画面いっばいに象の体を表し躍動感がある。縁は、同じく四分一地に金・



銀・赤銅・銅などを使った高彫据紋で、鍔を脇に置き、寝そべってくつろいでいる人物と雀が二羽飛び長閑な風情が表現されている。

この人物は舜で、継母と父に疎んじられながらも孝行したので、畑を耕していると象も耕し、鳥は草を取って手伝ったといひ、この話を聞いた時の天子堯が、娘を嫁がせ、後にその位を譲り、舜は天子となったという話である。

鐔は、紅葉の下に人物が鍔で土を掘っていると金の窠が現れたので、驚喜している様子が、四分一地に高彫据紋・色絵などを駆使し色鮮やかに立体的で絶妙な構図で描かれている。

この題材は郭巨で、母と妻と三歳になる子供と暮らしていたが、とても貧しく食べるものもない。母を養うために泣く泣く子供を埋めることとし、穴を掘ると金の窠が現れたので、子供と一緒に帰り、母にさらに孝行したという。



等々、どの金具も、高彫・据紋・色絵・平象嵌などさまざまな技法と、金・銀・赤銅・素銅・朧銀などを色鮮やかに使った石黒一門のお家芸となる、精密で色鮮やか、躍動感にあふれた絵画的で繊細、高い技量に驚嘆する。

これだけのものを作るのに、どれだけの日数と予算がかかったものであろうか？ 現代では絶対に作り得ないだけに、幕末から明治の金工品は世界に誇る芸術作品として、その価値はますます上がっていくことであろう。

今回、二十四孝を調べて、両親が健在のうちに少し親孝行しておかなければ、と思った次第です。

## 名刀「蛭丸」よみがえれ



「蛭丸」の復活へ意気込む刀匠の複製師 藤原 隆志

岐阜県関市の刀匠ら、阿蘇神社(熊本県阿蘇市)に伝わり、現在は所在不明の名刀「蛭丸」を、現在資料をもとに作り出し、神社に再び奉納するプロジェクトを立ち上げた。インターネットで資金を募る「クラウドファンディング」で支援を呼び掛けたところ、目標金額を大きく超える反応を呼んでいる。

### 関で復元計画 ネット資金集めに反響

鎌倉時代末期の刀匠、東園「蛭丸」を、現在資料をもとに作り出し、神社に再び奉納するプロジェクトを立ち上げた。インターネットで資金を募る「クラウドファンディング」で支援を呼び掛けたところ、目標金額を大きく超える反応を呼んでいる。

「蛭丸」の復活へ意気込む刀匠の複製師 藤原 隆志

「蛭丸」の復活へ意気込む刀匠の複製師 藤原 隆志

「蛭丸」の復活へ意気込む刀匠の複製師 藤原 隆志



阿蘇神社の所蔵品である戦前の蛭丸は、複製師の複製品である。

戦後、所在不明に「蛭丸」南北新時代、阿蘇神社大宮司だった阿蘇惟道(これすけ)の嫡子(はいとく)と、いわれ、1938(昭和13)年に足利氏と阿蘇氏が現在の福岡市東区で戦った「多々良原の戦い」で、惟道はこの刀で奮戦、戦場がほろほろになった刀身に無数のホタルが止まる姿を見た阿蘇、刀はこれに直ったという伝説から、この名が付いた。戦前は阿蘇家の指紋を受け、戦後、連合軍軍司令部(GHQ)の武器回収に出され所在不明に、現在は指定重要文化財。



# オーディオは時代遅れの男のロマン!!

川島貴敏

古来より日本男児の道楽・趣味の最高峰は日本刀とされてきた。現代であれば車であり、時計、オーディオなどが男性の趣味として挙がってきます。

一方、女性の好みと言えは玉石、バッグ、着物などの装飾品や香水などの化粧品が思い浮かびます。

趣味を辞書で引くと、「余暇に好んで習慣的に繰り返す行為、事柄やその対象のこと、道楽など」と出てきます。他人に強制されることなく本能的に行動しているのが趣味の世界とすれば、やはり何万年もかけてわれわれのDNAに織り込まれているからと言えるのではないのでしょうか。

はるか昔、人は石器などの道具を使い、狩猟や採集をして生活していたわけですが、そのためには少しでも良い道具が必要であり、野生動物に近い鋭い五感(視覚・聴覚・触覚・味覚・嗅覚)を必要とされていたことも間違いありません。残念ながら、現代ではこれらの能力はすぐる退化したと思わざるを得ません。



相変わらず賑わいを見せる秋葉原電気街だが...

その名残が、日本刀をはじめとして、車や時計のような道具の製作者、楽器の演奏を聞き分ける指揮者、味覚で言えば調理人、ソムリエなどの世界的な著名人のほとんどが男性であることから考えても、この特性は男性固有のもではないのでしょうか。

女性とは言うところ、石器時代はおよそ10万年前に狩猟や採集のために外出するので、外敵から身を守るために子供とともに洞窟や茂みなどに身を潜めていたのではないのでしょうか。それゆえ、子育てや身の回りの装飾品といった直接的なもの、あるいは男性の気を引くためのものに強い興味を持っているのではないのでしょうか。

多分このようなもともたうしい言いは、男の道楽・趣味に否定的な女性軍に対して何とか正当化しようとする言い訳にしか聞こえないかもしれません。

本題に戻りますと、私も来年還暦を迎えますが、私と同じ年代から七十歳の男性なら、大なり小なり若いころオーディオをいじられた方が多いと思えます。

一九七〇年前後はオーディオの黄金時代であり、東京で言えばあの電気街の秋葉原は、何軒の店を回っても入り口正面はオーディオで埋め尽くされていました。

私も多分にもれず、学生のころ、そのオーディオを手に入れるために、一生懸命バイトをしたものでした。成人して、家庭を持ち、仕事も忙しくなり、いつしかオーディオは一室の家具調

度品の一部と化していました。四十歳を過ぎて時間に余裕ができたので、再びオーディオを始めるよと、勇んで秋葉原に出かけて驚きました。すべての店のメインに展示されていたオーディオはどこにも見当たらず、店員に尋ねると、店の四階の片隅に追いやられ、ラジカセに毛の生えたようなものが数点ある程度。しばらくは納得できず、隔世の感を感じざるを得ませんでした。

平和な時代が続くと男性は女性化し、女性は男性化して強くなるなどいしばしば言われますが、最近では車やオーディオに若い人たちが反応しなくなっているように思えます。

巷で「刀剣女子」などともてはやしているのも、その世相を現しているように思えます。

一口でオーディオと言いますが、音楽を鑑賞するための道具としては女性にも十分受け入れられ、男性だけの趣味であるとは言えません。しかし、再生するシステム、音質、音色・定位感など、録音時のそのままの音を再生できないかといった方向に特化してしまつと、どんなに説明しても女性には全く理解不能なものとなってしまつてしまいます。

最近、十代の男性に聞いたら、オーディオが趣味だと言つと「キモイ」とか「オタク」とか変態視されるから、若い女性の前ではオーディオが趣味とは言えないと聞かされたときはショックでした。若い女性から趣味のことでもそのようなそりを受けるのは悲しい限りですが、それでも夜更けに一人、自分の部屋にこもってレコーダプレーヤーに針を落とす。好み

のシンガーがまるで私のために歌っているように聞こえてくると、全身鳥肌が立つような感動を味わうことができるのです。

## 紀伊国屋

## 代表 松浦孝子

刀剣・宝飾品・高級腕時計・タイヤ  
〒372-1081  
群馬県伊勢崎市連取町一八三六一  
TEL 〇二七〇-二六二七七八  
FAX 〇二七〇-二六二八七八

### NEWS & TOPICS

## 「明美ちゃん基金」に当組合から三十万円を寄託

暮れも迫った十二月十七日、組合交換会の後、「明美ちゃん基金」に寄付するため、大手町の産経新聞社に行つてまいりました。

同新聞社が提唱するこの基金は、国内外の心臓病に苦しむ子供たちを救うことを目的に行われていくもので、当組合では平成二年の第一回大刀剣市より出店者として来場の際さまに浄財を募り、寄付をしてきました。今年も生後三週間のモンゴルの男の子に基金が使われるそうです(左の記事参照)。

その後、産経新聞社の鈴木裕一

事業局長らとの懇談となりました。一概無量でした。(生野正)

「明美ちゃん基金」への寄付は、必ずしも行東京中央店(店番110)・普通口座567941「産経新聞社明美ちゃん基金」に送る場合は、現金書留で〒100-8077 産経新聞東京本社社会部「明美ちゃん基金」。



(右から) 産経新聞社鈴木事業局長、当組合清水専務理事・生野理事・服部常務理事

## モンゴルの男児に適用 「完全大血管転位症」手術へ

生後3週間



明美ちゃん基金

国内外の心臓病に苦しむ子供たちを救う「明美ちゃん基金」(産経新聞社提唱)の運営委員会は、先天性の重い心臓病を患う生後3週間のモンゴルの男児、ナランフー・テンギス君、ナランフー・テンギス君に、心臓を大入れ替える手術を、モンゴルの医療水準では難しい。

## 「心の隣人・日本で治療、本当にうれしい」

「心の隣人である日本と、治療への期待を語った。モンゴルの首都、ウランバートル在住のテンギス君の母、エンフジンさんは14日、モンゴルの医療水準では難しい。

「完全大血管転位症」と診断された。モンゴルの家族は日本に渡り、手術を受けることに決めた。モンゴルの心臓病専門医、鈴木裕一(産経新聞社)と、この基金の支援に感謝の意を述べた。

「心臓病に苦しむ子供たちを救う」というのが、本誌のテーマです。モンゴルの心臓病専門医、鈴木裕一(産経新聞社)と、この基金の支援に感謝の意を述べた。

「完全大血管転位症」と診断された。モンゴルの家族は日本に渡り、手術を受けることに決めた。モンゴルの心臓病専門医、鈴木裕一(産経新聞社)と、この基金の支援に感謝の意を述べた。

「完全大血管転位症」と診断された。モンゴルの家族は日本に渡り、手術を受けることに決めた。モンゴルの心臓病専門医、鈴木裕一(産経新聞社)と、この基金の支援に感謝の意を述べた。

「完全大血管転位症」と診断された。モンゴルの家族は日本に渡り、手術を受けることに決めた。モンゴルの心臓病専門医、鈴木裕一(産経新聞社)と、この基金の支援に感謝の意を述べた。



「完全大血管転位症」と診断された。モンゴルの家族は日本に渡り、手術を受けることに決めた。モンゴルの心臓病専門医、鈴木裕一(産経新聞社)と、この基金の支援に感謝の意を述べた。



健脚商売 4

続長野 編  
八王子 編

ツール・ド・フランスのような何日もかかるレースをステージ・レースと言う。翌日のレースに向かうべく人生の次のステージに進む若い二名について触れてみよう。

まずは前回、鍛刀場建設予定地として坂城から自転車で訪れた長野市信更町。

根津秀平刀匠がハレの門出の火入れ式を十一月二十八日に迎えた。前日は雪。自転車に向かうわけにもいかず、今回はクルマだ。前回は三十四度、今回は氷点下一度、あっといいう間に冬が来てしまったな。

式では長野市長、坂城町長、宮入小左衛門行平門下の刀匠たち、ほか刀職者ら八十名が神事に基づき根津刀匠の活躍を祈った。

宮入親方、兄弟子の河内一平刀匠、この二人の言葉「物作りとは長い旅のようなもの」は当然、俺にとってはツール・ド・フランスだ。

根津刀匠の信更町でのスタートは、実力を問われる山岳ステージに例えたい。平地の区間は、選手とチームのアシストでも取れるかもしれない。実力差が一発で出るのが坂だ。根津刀匠は今、アルプ



鍛刀場と根津秀平刀匠

スへのペダルを踏み出したのだ。根津刀匠本人は口数が少ない半面、余裕を感じさせない。そこを明るさと機転でフォローしていたのが兄弟子の河内一平氏であり、美しい場面をこの日は何度も目にした。また二人は、小谷村で炭窯を作ったり、何でも一から覚えながら熱心さだ。根津氏の食生活に至ってはストイックな菜食主義だとか！

刀剣の消費者の多くは、それを道楽と自覚している。中には家族に内緒で刀を買ってお父さんみたいで、後ろめたさを超え、家族を裏切り大枚をはたく瞬間の眩暈にも似た快感、これに浸りたくまた次の一振に手を出してしまうのだ。

根津刀匠にも消費者心理の理解のためにも道楽というものを教えるべきじゃないかな。

さて、この式で大きなミスキャストがあった。「門出」を「旅立ち」とか縁起の悪い間違いをするし、修祓？ 献饌？ 難しい漢字の読めない俺が何で司会進行役なの？ わからん！

ツール・ド・フランスの二団が田舎町を通過する際は、その出身選手を数十秒



再度転身する大野千春さん(左端)と筆者(左から2人目)と仲間たち

ほど前へ出してやるのだという。中心街では選手の家族や恋人が待っていて、トップで入って来たヒーローと擁護し、再度レースへ送り出す。選手はそのまま逃げをひかますことはせず、町の外れで一団を待っているという優雅さだ。

十二月の第一日曜日、苦しく漕ぐ俺を八王子市南大沢の地で待つのは交換会会員たちの恋人、大野千春さんだ。

七年ほど前から、小さい方の売買明細書に平仮名や片仮名が多くなると感じた組合員も多かろう。突然簡単な字が書けなくなるボケの始まった俺と双璧をなす漢字NG人間だ。そんな彼女だが、学生時代はレスリング選手として鳴らした。あの華奢な女性が？

と思われる向きもあろうが、スパリングを、世界選手権を四度制した山本聖子選手としていたと言えはその水準の高さも想像できよう。

その山本元選手がテキサスレンジャースのダルビッシュ投手の恋人なのに、大野さんは交換会会員たちの恋人では水をあけられ、あまりに気の毒だ。

そのせいではないと思うが、大野さんは交換会の事務職を年内で

【岐阜新聞】平成27年9月26日

関市重文保持者に刀匠ら2人  
刀剣で25年ぶり指定



遠山康男さん 尾川兼國さん

2人は関市武芸川に鍛錬所を持つ刀匠の尾川兼國さん(62)と山梨市西深瀬、柄巻師の遠山康男さん(69)と関市旭ヶ丘。

尾川さんは1986年、実父で刀匠の尾宮の際、宝物の刀の柄巻を担当した。実践的

91年に文化庁から作風の特長が特徴。刀の大きな波が特徴的な作風で、2004年に高松宮賞を受賞した。尾川さんは1978年、県卓越技能者の山田芳幸さんに師事し、88年に柄巻師として独立。伊勢神宮の式年遷立の際、宝物の刀の柄巻を担当した。実践的

刀剣商リレー訪問 23

藤岡弘之さん

四十年のキャリア、業界にも大きく貢献

東京赤坂、迎賓館に近い高台にそびえるホテルニューオータニを訪ね、テナントとして出店する青山古美術店の藤岡弘之さんを取材しました。

青山古美術店は、日本の伝統的古美術、特に刀剣・甲冑を中心に販売しています。代表者は青山偉和雄さん。ニューオータニに出店して四十年になるそうです。

都心のホテルという立地から、海外のお客さまも多いそうです。最近では若い女性の姿もチラホラと見られます。

藤岡さんには、これからもますます元気で、頑張ってください。青山古美術店 1-10-2009 4 東京都千代田区紀尾井町四一 ホテルニューオータニ内 ☎03-3339-0855

退く決意をし、次のステージへと進む。(何と)プロレスラーとなり脚光と怪我による挫折が第一ステージ、素晴らしいご息子を育て上げる第二ステージ、S田副理事長のセクハラまがいの言動に耐えられぬところか、そのS田氏のブースで大刀剣市を手伝うほどの屈強な精神を身につけ、第三ステージでは女子プロレス団体アイスリボンのリング・アナウンサーとして活躍する充実を迎える。

S田副理事長もよく折り畳み椅子で殴られなかったものだ。いつかプロレス会場にもいらしてください、と言われ送り出されたが、俺、血がダメでステークス怖いんだけど……。根津秀平刀匠、大野千春さん二人のツール・ド・フランスはまた始まったばかりだ。



藤岡弘之さん(右)と筆者

さて、本誌『刀剣界』でもときどき編集委員として活躍されている藤岡弘之さんについてご紹介しましょう。大学を卒業後、徳島県より上京して刀剣柴田に入社したのが昭和四十九年のこと。刀剣に関するキャリアは四十年に及ぶ、業界ではよく知

刀職紹介 第19回  
瀬下昌彦 加藤慎平さん



刀匠の加藤慎平(本名政也)さんは昭和三十三年、栃木県塩谷町に生まれる。

同五十年、人間国宝であった宮入行平師入門。二年後、師の死去により山形県の無鑑査刀匠上林恒平氏に師事。長年の修業を経て、五十八年に故郷である栃木県矢板市にて独立。上林師匠の「恒」の字に似る「慎」と宮入師の「平」を頂いて、刀匠銘とする。

新作名刀展にて日本美術刀剣保存協会会長賞、優秀賞などを受賞。その他数々の展覧会で多くの賞を受賞する。卓越した作刀技術は栃木県を代表する名工である。

平成十二年には栃木県文化奨励賞を受賞され、日光東照宮四百年式年大祭には見事な太刀を奉納。現在、栃木県銃砲刀剣類登録審査委員も務めている。

宮入一門ということで、相州物の志津や貞宗などを目標とされているが、もともとは粟田口の地鉄に魅力を感じていて、最近では小板目がよく詰み、地沸が厚くつく冴えた地鉄を意識して作刀されているとのこと。

作刀の代金については、伝法や長さによって異なるので、相談してみてください。

連絡先 03-29-2142 栃木県矢板市木幡一三三七二五 ☎01287433037

# 刀 剣 界

## ブック・レビュー BOOK REVIEW

### 「叛臣と呼ばれた男の「忠義」

『鬼神のごとく——黒田叛臣伝』

葉室麟 一七二八円(定価) 新潮社



「御家騒動」と言うところ、江戸時代の三代御家騒動「黒田騒動」

「伊達騒動」「加賀騒動」が有名である。伊達騒動は歌舞伎の「加羅先代萩」や小説「樫の木は残った」などで有名だし、内容も多少知っているつもりなのだ。が、あとの二つは、名称だけは知っていても、実際はどのような話かわからない。

ちなみに、黒田騒動は寛永十年(一六三三)、伊達騒動は万治三年(一六六〇)、加賀騒動は寛延元年(一七四八)で、黒田騒動が最も古く、また、他の二つの騒動と違って死者は出ず、血なまぐさいこともなく治まっている。

このような出来事を小説にするのは難しいと思うのだが、作者の葉室麟は見事にまとめている。

交易が盛んな九州では、商売人も大名も何かしらキリシタンと結びついている。ルソン攻めをしたい徳川家光は、その現状が苦しい。物語は黒田家をめぐって、密貿易を行う竹中采女正、細川家からの刺客などが入り乱れ、すさまじい暗闘が繰り

広げられていく。

肥後の加藤家を取りつぶされ、次なる標的はわが藩と気づきながらも、主人公である栗山大膳は藩主である黒田忠之に歩み寄ろうとしない。それどころか、幕府に「藩主に謀反あり」と訴え出る。大膳の動きはまるで反逆そのものだが、読み進むにつれて、大膳が打った数々の布石が一つ一つながってくる。

後は皆さんに読んでいただきたいので内容は書かないが、登場人物が多岐なので、これだけ紹介しておこう。

細川家の刺客として宮本武蔵。栗山大膳の配下に、かつて武蔵に敗北し、リベンジを誓う夢想権之助。後にキリシタン一揆「島原の乱」の総大将となる天草四郎。黒田藩主、黒田忠之。忠之の忠臣、倉八太夫。さらに、徳川家光・柳生但馬守宗矩・柳生十兵衛。豊臣秀吉の軍師として黒田官兵衛とともに二兵衛と言われた竹中半兵衛重治の後裔である竹中采女正、土井利勝、井伊直孝……。

オールキャストですから、読み応えは十分です。

(持田具宏)

### イベント・レポート

#### 「KATANA」十年の伝統と未来への挑戦 全日本刀匠会が創立四十周年記念行事を開催

四十周年記念実行委員会

去る十一月二十日、全日本刀匠会では創立四十周年記念「刀匠KATANA」十年の伝統と未来への挑戦」を東京白金台の八芳園にて開催しました。

今回は、刀に関心を抱いている一般の方を対象にフェイスブックなどSNSを中心に広報するとともに、チラシも幅広く配布し募集をしました。その結果、当日は予定人数を超える約二百五十名の参加をいただきました。

昼の部は「触れて感じる日本刀の美」と題した現代刀鑑賞会、夜の部は「刀鍛冶がもたらす晩餐」と題した懇親会を開催しました。

鑑賞会は、多くの一般参加者を募る初めての企画でした。実際に刀を手にとって鑑賞するのは初めてという方が多数参加されるといって、不測の事態も懸念されました。そこで、まずは全員に初心者講習を受けていただきました。皆さん、とても熱心に鑑賞手順を学ばれ、その後の鑑賞会で

は、全国から集まった刀鍛冶の作品を真剣に見つめ、楽しんでおられました。

作者のこだわりや狙いどころ、作刀時の苦労話など直接聞いていただくこともでき、作品への理解をより深めてもらえたのではないかと思います。鑑賞以外にも実演コーナーを設け、土置きや銘切り体験、鞘や向鉋などの鍛冶道具にも触れるなど、刀鍛冶の仕事の感触や難しさも体験していただきました。

夜の部の懇親会では、歴代会長であり人間国宝の宮入行平・月山貞一・隅谷正峯・天田昭次各師の作品、映画「ばけものの子」やゲーム「戦国無双」とのコラボ作品、イベントチラシに使用された太刀やお守り刀などを八芳園のご協力の下に特別展示し、すばらしい会場となりました。

参加した刀匠全員が登壇し、実行委員長川崎晶平の決意表明と、全日本刀匠会会長三上貞直の挨拶が行われた後は、美酒「玉鋼」での乾杯で刀鍛冶のもてなしが始まり、刀匠会活動や事前に募集したデザイン紹介などが行われる中、会場の至る所で参加者と刀匠たちの談笑が生まれました。

終盤には「武楽B UGAKU」の演奏とともに、日本庭園からお守り刀を帯に差したモデルが次々と登場し、お守り刀ファッションショーを開催。モデルの移動とともにカメラを片手に参加者が



勢揃いした全国の刀匠たち

集まり、宴も最高潮となりました。アートアクアリウム・プロデューサー木村英知氏はじめ異業種から、刀匠会へ期待を寄せるお言葉も頂戴することができました。閉会の時間が来ると、刀匠会一同でお客さまをお見送りし、大盛況のうちに閉会となりました。以前から刀に興味がある方、初めて刀に触れた方、刀鍛冶との語らいや仕事の体験を初めてされた方など、さまざまな方が参加されたいと思います。作り手にしか伝えられないこともまだまだ多くありますが、今回の四十周年記念イベントを通し、いくらかでも刀や刀鍛冶のことを理解していただけたのではないかと思います。

力を賜り、また温かく見守っていただけたいことに厚く御礼申し上げます。全国刀剣商業協同組合からは「大刀剣市」の招待券を多数頂戴し、参加者へ配布させていただきましたことを報告致しますとともに、重ねて御礼申し上げます。

今後も日本刀ファンとつながるこのようなイベントを各地で行い、日本刀の魅力や見どころを多くの方々を知ってもらえるよう、全日本刀匠会は一丸となって尽力してまいります。

#### 千葉県立中央博物館 甲冑とその時代

初公開の優品に驚嘆する

交ぜ本小札黒革威し胸裾紅胴丸(室町後期)と鉄黒漆塗り四十枚張二方白星兜鉢(鎌倉末から南北朝前期)は驚きに値するものであった。すぐさま文化財指定を受けたもおおかしくないものを、それぞれ個人が密かに持ち続けていたのだろうかと思わせる。

靖国神社遊就館、国立歴史民俗博物館、サントリ博物館、サントリ美術館などのおなじみの所蔵品のほか、県の指定文化財、館の蔵品なども興味深いものが多く、入場料三百円は安すぎると感じる。

キャプションに至っては文章上の二重否定など、



千葉県立中央博物館 大多喜城分館

前号「ふるさと自慢」の中に「公益財団法人日本美術刀剣保存協会 会福井支部」とありますが、正しくは「日本美術刀剣保存協会 福井支部」です。お詫びして訂正します。



現代刀を熱心に鑑賞する参加者たち

## アオバ企画株 高橋 一

〒130-0012 墨田区大平四一九二-11308  
TEL 03-3621-1131  
FAX 03-3621-1151  
MAIL aobakk@pj8.so-net.ne.jp

# 催事情報

## ■大阪歴史博物館

〒540-0008 大阪市中央区大手前4丁目1-32 ☎06-6946-5728  
http://www.mus-his.city.osaka.jp/

### 連続講座「渡来人いずこより —弥生・古墳時代の日朝交流—」

大阪歴史博物館では、連続講座「渡来人いずこより—弥生・古墳時代の日朝交流—」(全4回)を開催します。今回は、弥生~古墳時代に朝鮮半島から日本列島にやってきた「渡来人」にスポットを当てます。この時期の渡来人は、さまざまな新文化を携えてきて、弥生・古墳文化を大きく発展させる要因にもなりました。その渡来人が朝鮮半島のどの地域からやってきたのか、また、どんな文化を携えてやってきたのかという、具体的な姿に踏み込んで話をします。

講座を通じて、日本文化に加え、朝鮮半島の歴史・文化に対する理解を深め、隣国に対してさらに親しみを持つきっかけになれば幸いです。  
〈第1回〉「輝きとの出会い—金属器生産と渡来人—」  
〈第2回〉「楽浪郡の興亡と対外交渉の変化」  
〈第3回〉「渡来文化に見える新羅」  
〈第4回〉「渡来文化に見える百済」  
日時：2月22日・29日、3月7日・

14日(いずれも月曜日)午後2~4時  
講師：寺井誠(当館学芸員)  
参加費：2,000円(4回通し、初回受納) ※参加されない回があっても返金できません。  
定員：250名(事前申込制、応募者多数の場合は抽選)  
申込方法：往復はがきに、郵便番号・住所・氏名・連絡先電話番号、返信用はがきの宛先を必ず書いて、大阪歴史博物館「連続講座渡来人」係までお申し込みください。



新羅王墓 皇南大塚(慶尚北道慶州市)

## ■備前長船刀剣博物館

〒701-4271 瀬戸内市長船町長船966番地 ☎0869-66-7767  
http://www.city.setouchi.lg.jp/token/

### 再び煌めく赤羽刀展

太平洋戦争降伏後、日本を占領した連合国(GHQ)により日本の武器解除の一環として、刀剣などの武器類の提出が命じられました。これにより、全国各地の武器が接収され、数多くの刀が遺棄・散逸の憂き目に遇っています。中には海外に持ち出されたものもありましたが、ほとんどは海中に投棄されたり溶解されたと言われていました。

没収された刀の一部は、当時赤羽(東京都北区)にあった米軍の倉庫に集積され、廃棄寸前のところを刀剣関係者の努力により、美術的価値のある約5,500口が選別され、日本に返還されました。その後、元所有者への返還が始まりましたが、4,500口を超える刀剣類が所有者不明のまま東京国立博物館の収蔵庫で保管さ

れてきました。これらの刀剣類は、接収時の保管場所にちなみ「赤羽刀」と呼ばれるようになりました。

その後、戦後50年に当たる平成7年「接収刀剣類の処理に関する法律」が成立し、一般公開することなどを条件に、国で保管されていた多くの赤羽刀が全国の博物館等に無償譲与されました。当博物館では、備前刀を中心に刀剣類107口の譲与を受けておりますが、すべて研磨・修復後、展示を行っています。

今回は備前刀と他国物を時代順に展示していますので、当時の歴史を想像しながら、貴重な文化遺産として再び煌めきを取り戻した赤羽刀を鑑賞していただければと思います。

会期：11月11日(水)~1月24日(日) 月曜休館

## ■三井記念美術館

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2-1-1 三井本館7階  
ハローダイヤル：03-5777-8600  
http://www.mitsui-museum.jp/gaiyou/gaiyou.html

### 三井家伝世の至宝

平成27年度は、公益財団法人三井文庫が、昭和40年5月に財団法人として東京都中野区上高田に開設してから50周年の年に当たります。また、同財団の博物館類似施設であった三井文庫別館が、平成17年10月に中央区日本橋室町の三井本館7階に移転し、三井記念美術館として開館してから10周年でもあります。

この記念すべき年度として、当美術館では春季と年末年始の2回に分けて記念特別展を開催する運びとなりました。

春季の記念特別展Ⅰは「三井の文化と歴史」と題し、前期に「茶の湯の名品」、後期に「日本屈指の経営史料が語る三井の350年」を開催し、

それぞれ1万人を超える来館者があり、好評のうちに終了することができました。

これに引き続き記念特別展Ⅱでは「三井家伝世の至宝」を開催します。

この展覧会では、館蔵の国宝・重要文化財を中心に、現在は三井から離れ、他の美術館・博物館・個人等の所蔵となっている名品・優品も併せて展示し、かつて三井家に伝世した至宝の数々を一堂のもとに鑑賞していただきます。

なお、刀剣では国宝「日向正宗」と重要文化財「加藤国広」を展示します。

会期：11月14日(土)~1月23日(土) 月曜休館

## ■林原美術館

〒700-0823 岡山市北区丸の内2-7-15 ☎086-223-1733  
http://www.hayashibara-museumofart.jp/

### 企画展「戦陣に舞う揚羽蝶 —池田家草創期—」

「揚羽蝶」は岡山藩主池田家の家紋です。特に横を向いた「泊蝶紋」と呼ばれる蝶紋は、初代岡山藩主となる池田光政が隠居するまで使用された、池田家草創期のシンボルと言えるものです。

本展では、織田信長、羽柴(豊臣)秀吉、そして徳川家康からの書状などから、池田家の礎を築いた池田恒興らの活躍と、彼らが挙げた武功の数々に迫ります。また揚羽蝶の家紋が描かれた胴服・鞍、そして纏や吹流しなど、池田家を象徴する資料も展示します。

併せて、江戸時代に藩主自らが制作に関与した系図や肖像画などから、祖先の顕彰活動を紹介し、31万5,200石を領有した岡山藩主池田家の草創期を振り返ります。

会期：1月2日(土)~2月14日(日) 月曜休館



## ■刀剣博物館

〒151-0053 東京都渋谷区代々木4-25-10 ☎03-3379-1386~8  
http://www.touken.or.jp/

### 刃文 —一千年の移ろい—

日本刀の見どころの一つである刃文は、実用上の面から欠くことのできないものです。

およそ平安時代後期に日本刀様式が完成してからは、刃文の原初的形態を示す直刃のみならず、互の目や丁子・のたれ・尖り刃など、さまざまな刃文が生み出されました。それらは実用面にとどまらず、高い美術性を有するなど日本独特の文

化へと昇華されました。

単一の刃文で構成された日本刀は少なく、そのほとんどが何種類かの刃文が交ざり、多様な変化を伴って一振の作品として完成されています。

一千年の移ろいにより自由闊達に変化してきた刃文の魅力を少しでも感じ取っていただけたら幸いです。

会期：1月5日(火)~3月27日(日) 月曜休館

## ■展示リスト

		刀 剣	
特別出品	国宝	太刀 銘 国行(来)	
直刃	特別重要刀剣	短刀 銘 国光(新藤五)	
	重要美術品	刀 無銘 行光	
	重要美術品	薙刀直し脇指 銘 真利	
	重要美術品	刀 無銘 青江	
	重要刀剣	太刀 銘 来国俊 元亨元年十二月日	
互の目	重要刀剣	短刀 銘 近江大掾藤原忠広	
	重要文化財	短刀 銘 兼氏	
	重要刀剣	太刀 銘 保弘	
	重要刀剣	太刀 銘 正則	
	重要刀剣	脇指 銘 同作彫之 長曾祢興里虎徹入道 寛文元年霜月廿五日 山野加右衛門六十四歳永久(花押) 脇毛貳ツ胴度々三ツ胴截断 (金象嵌)	
丁子		刀(金象嵌銘) 助真	
		刀 無銘 福岡一文字	
	特別重要刀剣	脇指 無銘 光忠	
のたれ		太刀 銘 是友(古青江)	
		刀 銘 長幸於撰津国作之 以播州宗粟鋼鉄作之	
	特別重要刀剣	刀 銘 津田越前守助広 寛文七年八月日	
	重要刀剣	脇指 無銘 伝正宗	
	重要刀剣	脇指 銘 大和州住人九郎三郎重国居 駿河州後於紀伊州明光山作之 羽掃為都筑久太夫氏勝作之 元和八年戌八月吉日 (棟に) 鑿物天下第一池田権助義照	
尖り刃	重要刀剣	刀 銘 津田越前守助広 延宝九年八月日	
		刀 銘 兼元(孫六)	
現代刀		刀 銘 八十三歳奥大和守平朝臣元平 文政九戌春	
		脇指 銘 以日立新玉鋼 宮入行平作 昭和五十二年正月	
		脇指 銘 太阿月山源貞一作(花押) 白刀保たたら焔以初玉鋼試作之 (棟に) 昭和五十三年二月吉日	
		太刀 銘 傘笠両山子正峯作之 庚申年霜月日 以白刀保多多羅胴下ノ下作之 俊平 昭和五十五年十月廿三日 昭和五十三年度操業白刀保タタラ玉鋼試作刀	
刀 装			
黒漆塗研出燃糸巻朱銀蛭巻鞘打刀拵(黒田清隆指料) 鐔 銘 安親			
堅木造四靈文腰刀拵			
鶴足革包葵紋散鞘殿中鐔打刀拵(徳川將軍家伝来)			
刀 装 具			
括猿三双透鐔 無銘 応仁			
猿猴捕月透鐔 無銘 京透			
猿猴捕月透鐔 無銘 古正阿弥			
向い猿猴透鐔 無銘 古正阿弥			
双猿図小柄 無銘 栄乗			
猿猴捕月図鐔 銘 在哉			
千疋猿透鐔 銘 肥州矢上住光廣 宣徳金ヲ以作之			
千疋猿透大小鐔 大小銘 矢上逍遙軒光寿(二代光廣初銘)			
猿尽透大小鐔 大小銘 高橋正次(金印)			
松樹向猿透鐔 銘 武州住赤坂 忠時作(五代)			

(12)

第27号

# 刀 劍 界

平成28年1月15日発行(隔月刊)

平成28年(2016) 謹賀新年 本年もよろしくお願ひ申し上げます

拵合せ致します

### 水野美行

日本刀鞘師  
〒160-0002  
東京都新宿区四谷坂町6-11  
TEL 03-33353188  
FAX 03-33353180

### 横山忠司

札幌横山美術  
〒060-0053  
北海道札幌市中央区南三条東1-16  
TEL 011-2511765  
FAX 011-2511788

### 舟山堂

株式会社  
〒100-0001  
東京都千代田区神田2-4-13 石垣ビルB1  
TEL/FAX 03-52971814

### 稲留修一

東京千代田区神田2-4-13 石垣ビルB1  
TEL/FAX 03-52971814

### 田澤二郎・数馬

刀剣・古美術古書画 (株)日宝  
代表  
〒252-0334  
神奈川県横浜市南区若松6-15-162  
TEL/FAX 042-7441553  
FAX 042-7441553  
メール nipou-55@nsh.biglobe.ne.jp

### 松本富夫

株式会社美術刀剣松本  
松本 富夫  
松本 義行  
〒044-7122  
千葉県野田市清水1-9-11  
TEL 044-7122-1122

### 御刀研磨処楽屋

研師 平井隆守  
岐阜県関市清水町  
TEL/FAX 0575-2510928  
メール okatana@tdion.ne.jp  
URL http://www.tdion.ne.jp/~katana/

### 刀剣・小道具・鑑 刀剣杉田

代表 杉田侑司  
豊島区池袋2-49-15  
TEL 03-39980114  
FAX 03-39980114  
メール info@token-net.com

### つるぎの屋

冥賀 亮吉典也  
東京都北区西ヶ原4-35-11  
TEL 03-35761753  
FAX 03-35761841

### 大阪刀剣会

吉井 唯夫  
大阪府中央区日本橋2-17-11  
TEL 06-66311221  
FAX 06-66441546

### 刀剣の店 玉山名史刀

玉山祐司・真敏  
岡山市北区田町1-11-11  
TEL/FAX 086-22274188  
URL http://www.t-touken.com

### 甲冑刀剣装具 福隆美術工芸

網取 譲一  
東京都中央区銀座2-11-4  
TEL 03-35411820

### 山城屋

嶋田 伸夫  
東京都豊島区巣鴨1-21-8

### 株式会社 刀剣柴田

### 柴田 光隆

〒104-0061 東京都中央区銀座5-6-8  
TEL 03-35731280  
FAX 03-35731280  
URL http://www.tokenhatana.co.jp

### やしま

### 齋藤 雅稔

東京都西東京市柳沢6-8-10  
TEL 042-4631531  
FAX 042-46317955

### 銀座誠友堂

中央区銀座5-11 銀座ファイブ2階  
TEL 03-35581800  
URL http://www.seiyudo.com

### 美術刀剣松山

### 福岡 光男

愛媛県松山市松前町3-13-11  
TEL 089-9471517

### 武蔵国一の宮美術刀剣骨董品居合道古式銃専門店 有限会社 清水商会

### 清水 敏行

代表取締役  
〒330-0802 埼玉県さいたま市大宮区宮町3-7  
TEL 048-6441347  
FAX 048-6441743  
URL http://www.surplusopart.com/

### もちだ美術

### 持田 具宏

さいたま市中央区上落合1-9-14  
TEL 048-85514792

### 美術刀剣専門店 (株)コレクション情報

### 代表取締役社長 村上和比子

岐阜県岐阜市西部本郷1-1-49  
TEL 058-22741196  
FAX 058-22731736  
URL http://www.samurai-journal.net

### やしま

### 齋藤 隆久

東京都西東京市柳沢6-8-10  
TEL 042-4631531  
FAX 042-46317955

### 笹原 俊和

熊本県阿蘇市一の宮町宮地4375-1

### 刀剣古美術 優古堂

### 三浦 優子

代表  
東松山市高坂769-15  
TEL 0493135155  
FAX 0493135124

### 飯田高遠堂

### 飯田 慶久

代表取締役  
東京都新宿区下落合3-17-33  
TEL 03-39511332  
URL http://www.ritakendo.com

### 丸英美術刀剣店

### 瀬下 明彦

瀬下 昌彦  
栃木県小山市乙女3-17-30  
TEL 0285-4510158

### 刀剣研師

### 白木 良彦

〒135-0045  
東京都江東区古石場1-2-17  
TEL 03-36431322

### 研誠堂

### 石塚 孝夫

〒113-0034  
文京区湯島1-2-11  
TEL 080-54731005

### 刀剣書画・骨董 虹雅堂美術舗

### 笠原 泰明

〒142-0063 品川区荏原2-17-13  
TEL/FAX 03-37811658

### 九州刀剣会

福岡市博多区博多駅前2-20-11 大博多ビル  
TEL 03-53350185  
携帯 090-33151197  
日本刀簞谷 篠谷 大輔

### 美術刀剣 新装開店 1月15日

### 勝武堂

東京都中野区本町4-45-10  
TEL 03-33811307  
URL http://www.shoubudou.co.jp

### 服部美術店

東京都中央区日本橋3-5-12・2F  
TEL 03-32741517

### 株式会社 真玄堂

〒101-0044  
東京都千代田区鍛冶町1-7-17  
TEL 03-32252178  
FAX 03-32251141

### 銀座長州屋

東京都中央区銀座8-11-14 盛光堂ビル  
TEL 03-35691225  
URL http://www.ginzasekido.com

### 赤荻刀剣店

### 赤荻 稔

茨城県下妻市下妻乙172の5  
TEL 0296-4412643

### 西日本甲冑交換会

岡山県岡山市北区柳町1-4-8・2F  
TEL 03-53350185  
携帯 090-33151197  
日本刀簞谷 篠谷 大輔

### 浅草観音裏 美術・骨董・書画・工芸・刀剣・鑑

### 晴雅堂清水

〒111-0032 台東区浅草2-130-11  
TEL/FAX 03-38421337

### 伊波 賢一

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-8-11  
TEL 03-34341432  
FAX 03-34341432

### 飯塚 賢路

古美術 飯塚  
〒337-0015  
さいたま市見沼区蓮沼1004-11  
TEL 048-6881200  
FAX 048-6881200

### 銀座 盛光堂

### 齋藤 恒

東京都中央区銀座8-11-14 盛光堂ビル  
TEL 03-35691225  
URL http://www.ginzasekido.com

### 刀剣古銭・切手・古美術品(売買)

### 田中 勝憲

代表  
東京都目黒区上目黒4-31-10  
TEL 03-37101677  
携帯 090-33208196

### 美術刀剣のオンラインショップ「刀の蔵」

### 佐藤 均

代表者  
〒710-1101  
岡山県倉敷市茶屋町173  
TEL 0120-9631411  
ホームページ http://katanokura.jp

### 江州屋刀剣店

### 小暮 昇一

〒529-1315  
滋賀県愛知郡愛荘町香掛80-11  
TEL 0749142151  
FAX 0749142151  
携帯 090-33162176

### 株式会社 泰文堂

### 川島 貴敏

東京都中央区銀座4-13-11 松崎ビル4階  
TEL 03-35631255  
FAX 03-35631255

### 朝倉 万幸

朝倉 忠史  
大野島長野市南条町1-13-6  
TEL 026-2281000

### 月山 貞利

奈良県橿原市大字茅原228-18  
TEL 0744-431733  
記念館 42-32330

### 株式会社 むさし屋

### 猿田 慎男

代表取締役  
〒590-0025 大阪府堺市堺区向陵東町1-2-19  
TEL 072-2512885  
FAX 072-2512885  
URL http://www.musasya.co.jp

### 刀剣鑑定書発行業務 一般社団法人 倉敷刀剣美術館

### 佐藤 均

理事長  
〒710-1101  
岡山県倉敷市茶屋町173  
TEL 086-1422010066

### 尾崎刀剣研磨處

### 尾崎 明幸

刀研師  
大阪府大東市寺川2-1-31  
TEL/FAX 072-8711714  
メール oakiyuki@yahoo.co.jp

### TAISEIDO

### 大西 芳生

URL http://taiseido.biz  
TEL/FAX 044-211-3132

印刷/株式会社日刊企画